



利益よりも人々を優先

- パネル 4 - 天国それとも地獄: 持続可能な都市化と公共サービス

人々が職とより良い生活を求めて田舎から都会へ移動することで、現在世界は歴史上もっとも急速な都市化を経験している。都会の拡大が富と機会を生むのか、それとも貧困や疾病、悲惨を生むのかどうかは、私たちがどのように都市を動かしていくかの選択にかかっている。

新たな都市居住者を吸収することで多様性とエネルギー及び革新に富む活気あるコミュニティを創ることができる。包摂的な政治システムと、質の高い公共サービス、優れた計画づくりとディーセントな職が、社会的、経済的な成功を支える。それらがなければ、都市は、高級住宅が立ち並ぶオアシスと、個人やコミュニティから人間性を奪うゲットーとの二極化に陥る。

当局がいかによく公共サービスを提供するか、そしてこれらのコミュニティが都市の政治的、社会的、司法的な枠組みの中に溶け込んでいくかどうかによって、違いが出る。

これには、十分な自治体財政、包摂的な統治、累進課税、公平な取り締まり、持続可能で人間にやさしい生態系、質の高い教育・保健・住宅・水・衛生・エネルギー・交通を万人が利用できることなどが必要である。またあらゆる形の自然災害と人災に対応し復旧するための緊急事態への十分な備えも必要である。このいずれも、地域に根差した、よく訓練されよい報酬を受け取る献身的な職員が、職場で尊厳を持って処遇されることがなければ不可能である。

これらのサービスがない、あるいは民間部門に任せられている時、そして公共部門労働者が評価されない、もしくは職場での彼らの権利が否定されている時には、すべての人がその代償を支払うことになる。